

2019年(平成31年)4月5日(金)

享月 三 楽天 開

「家族」の一員として可愛がられているペット。だが、同じお墓で眠りたい、という願いは、まだ簡単にはかなわない。なぜか。東京都町田市の民間靈園「町田いずみ淨苑」は15年ほど前ペットと眠れる墓の区画を売り出した。すでに完売し、今はペットと一緒に樹木葬のみ受け付けているが、今年だけ40件以上の問い合わせがあったという。亡き夫と息子、愛犬が眠る墓にお参りしていた同市内在住の女性(80)は5年前に墓を購入。「皆で仲良くそばにいたから」という。

「お寺に断られた」

日本で飼育されている犬と猫は、昨年のペットフード協会の推計では約1855万匹。15歳未満の人口よりも多い。手厚く葬る人も多く、約90社が加盟する全国ペット靈園協会によれば、ペット靈園は全国に600ほどある。だが、人間とペットが共に入れることではない。50年以上前から共に入ることを認めている東京都港区の魚籃寺には、「靈園やお寺に断られた」という相談が各地から寄せられる。

ロシア大統領から贈られた「ミール」を含め7匹の猫と暮らす佐竹敬久・秋田県知事(71)の家では、3年前、最古参の「ニャア」が旅立った。知事は、秋田藩主を歴代務めた佐竹一門の「佐竹北家」の21代当主。「私の墓の隣に、ニヤアのお墓を作つてもいいか」と、先祖代々が眠る菩提寺に尋ねてみたが、結果はNO。ペット靈園に葬った。「ペットを子どものように可愛がる高齢者は多く、需要はあると思うのですが」

なぜ、ペットと共に墓に入れな

NEWS
ニュース Q³

ペットも家族の一員 同じ墓入りたいけど…

宗教的な議論続く

こうした状況を受け、浄土宗では、「ペットは極楽浄土に行けるのか」という議論が続く。2月に増上寺(東京都港区)であった公開講座には、200人以上の僧侶らが集まつた。テーマは「ペットは往生できるのか」。

安達俊英・佛教大学元准教授

は、念佛を唱えられない動物はそのままでは往生できないとして、「供養の時は、次は人間に生まれ変わりますように、と願うべき」と主張。一方、林田康順・大正大學教授は、供養すればすぐ往生できると、「あなたの思う最も理想的な姿で浄土に生まれ直すでしょう」と答えると反論した。会場からは、「同じお墓に入つていのいか」という質問も飛んだが、2人は問題ないとした。

司会を務めた大正大学の石川琢道准教授は、「宗教者として、ペットの悲しみに応えられるかが問われている。教学的な議論を重ねる必要がある」と述べ、今後も議論を深めたい考えだ。(丸山ひかり)



亡き夫と息子、そして愛犬が眠るお墓に手を合わせる女性。墓石には、ふたりの名前とともに、飼い犬の名前が彫られている=東京都町田市の「町田いずみ淨苑」